

わかる! できる! うかる!

日商簿記

3級

瀬良聰一 著

テキスト

+

問題集

+

模擬試験



ネットスクール出版

はじめに

この本を手に取っていただき、誠にありがとうございます。

この本は、フルカラーのテキスト、抜き取り式の問題集、模擬試験3回分をまとめた合格する実力につけるための1冊です。そして、この本のタイトルにある「わかる！できる！うかる！」のコンセプトは次のとおりです。

3級の内容がわかるようになるためのテキスト

問題を解くことができるようになるための「基本＋実力アップ」問題集

実際の試験にうかる実力につけるための模擬試験

この本は段階的に問題の難易度を上げて、合格できる実力につけることを目標として執筆してきました。実力アップ問題までは解けるようになつたけれど、模擬試験がとても難しいと感じたら、この本をフォローする役割の姉妹書「日商簿記3級過去問攻略ナビ」を利用してみてください。

皆様には、この本をご活用いただき、合格を勝ち取ることを心よりお祈り申し上げます。

瀬良 聰一

著者プロフィール：

1975年生まれ、埼玉県出身。

某大手専門学校にて、日商簿記検定関連書籍を多数執筆。著者歴・講師歴13年。

趣味はジョギング。

無料サービス

日商簿記試験に合格するための学校 愛読者サポート

[Webキャンパス]のご案内

独学には不安がつきものです。こんな悩み、持ったことはありませんか？

「本を購入したが、途中で躊躇してしまった」

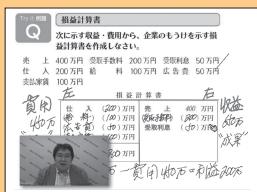
「どうやって解くのかわからない問題がある」

「質問したいのだが、質問をする相手がいない」

「過去問題を使わないと受からないの？」

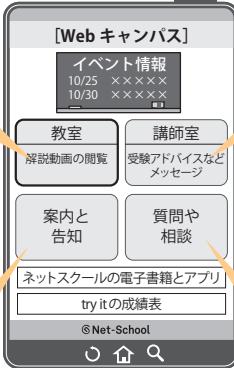
「試験申込みの日程をリマインドしてほしい」

そこで「日商簿記試験に合格するための学校 愛読者サポート [Webキャンパス]」です。



try it ! や過去問題の動画解説はこちら

新刊お知らせや正誤表情報はこちら



講師からのメッセージ・本の活用方法はこちら

電話、メールでの質問はこちら

このサービスは、

- ①解説動画を視聴できる
 - ②質問電話や質問メールで疑問を解決
 - ③受験情報をお持ちのスマホやタブレットに送信
- するネットスクール読者限定の全く新しいサービスです。

日商簿記試験に合格するための学校 愛読者サポート

登録はカンタン！ QRコードから空メールを送信するだけで、上記サービスを無料で利用できます。ぜひ、登録してください！

ネットスクール

検索

<http://www.ns-2.jp/webcampus/>



i

本書の特徴

勘定科目を
色別に表現！
だから覚えやすいぞ！



イラストで取引の
イメージばっちり！



答えを導くための
わかりやすい
解説だよ！



見開き完結
だから、サクサク
読み進められるよ！



Section 1 有価証券

00

債券の売却



以下の取引の仕訳をしてみよう！

スマート商店は、先日、売買目的で購入したヘビーバンク社の社債(額面20,000円)を額面100円につき98円で売却し、代金は現金で受け取った。なお、購入したときの取得原価は19,900円であった。

額面20,000円

社債

19,600円



答え

(現金)	19,600	(売買目的有価証券)	19,900
(有価証券売却損)	300		

解説

売却代金を現金で受け取っているので、現金(資産)が増えます。

$$\text{売却代金} : 20,000 \text{ 円} \times \frac{98 \text{ 円}}{100 \text{ 円}} = 19,600 \text{ 円}$$

売買目的で購入した債券を売却したときは、お店が保有していた債券がなくなるので、売買目的有価証券(資産)が減ります。

売買目的有価証券(資産)の減る金額は、帳簿価額(簿価)です。したがって、基本的に、帳簿価額はその債券を購入したときに帳簿に記入した金額、つまり、取得原価になります。



問題集

問題を解いて、
実力
アップ!



模擬試験

実力を試して
みよう!



勘定科目 しおり

勘定科目一覧が
載っている
優れもの!



学習に
便利!



Section 1 有価証券

帳簿価額：取得原価19,900円

売却代金と帳簿価額の差額で売却損益を計算します。

$$\text{売却損益} : 19,600\text{円} - 19,900\text{円} = \triangle 300\text{円} (\text{売却損})$$

売却代金 帳簿価額

19,900円で買って、19,600円で売ったから、300円損しちゃったよ。



売却損益の計算順序

- ① 売却代金を計算
- ② 帳簿価額(簿価)を計算
- ③ 売却損益 = 売却代金 - 帳簿価額(簿価)

売買目的有価証券を売却して出た損失は、**有価証券売却損(費用)**
NEW が増えます。

売買目的で購入した有価証券を売却して出た損失は**有価証券売却損(費用)**に記入します。



現 金 → 資 産 → ↑えた 売買目的有価証券 → 資 産 → ↓減った
有価証券売却損 → 費 用 → ↑えた



重要項目が一目瞭然に
まとまっているから
復習に便利じゃぞ!

ストラじい

新しく出てきた
勘定科目の詳しい説明!
まずはここから
覚えましょう!



対応する基本問題に
チャレンジ～



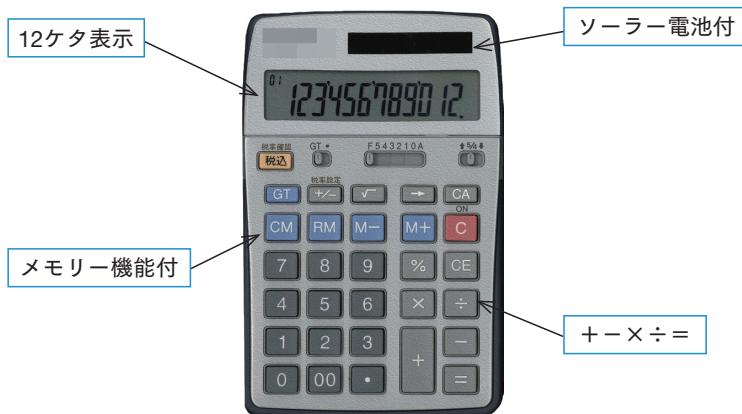
ウサにゃん

ii

簿記の学習の必須アイテム！

電卓を用意しよう

学習を始める前に、電卓を必ず用意してください。日商簿記検定では電卓を使用することができます。ただし、携帯電話の電卓機能や関数電卓は使用できません。次のような機能が付いた電卓の使用が認められています。



カード型の電卓は小さいので、試験には向いていないよ。
ちなみに、算盤(そろばん)も試験で使用することができるよ。



ネットスクールのWEBSHOPでも販売をしているんじゃ。
ネットスクール 電卓 で検索じゃ!!

iii

合格するための実力アップ過去問題集!

「過去問攻略ナビ」 を用意しよう

弊社発刊の「過去問攻略ナビ」(別売り)を用意しましょう。

本書は問題を解く知識をテキスト部分で吸収します。そして、本書別冊の問題集編でテキストの内容の確認と実践的な問題の確認を行い知識の定着を図ります。最後に、模擬試験(本試験レベル)で実力を試します。

「だったら、本書だけで足りるじゃないか」と思われるかもしれません、この「過去問攻略ナビ」は、本書にない特長があります。



① 短時間で解くためのテクニックを記載(攻略編)

日商簿記3級の試験時間は2時間です。時間内にきちんと解くテクニックを身に付けることができます。

② 合格率順過去問が実際の試験の用紙サイズで収録されている

実際の試験の用紙サイズで過去問を解くことで、本番の試験の臨場感を体感することができます。

また、日商簿記検定では、過去の問題を解いておくことが重要です。

ですから、本書のテキストと問題集を解いた後、過去問攻略ナビを読むことで、本書の模擬試験を効率的に解くことができ、実力をつけることができます。

合格までの道筋を考えよう！

学習計画をたてよう

日商簿記3級の試験に合格するためには、きちんと学習計画をたてる必要があります。最低でも1か月、余裕をもって2～3か月くらいを見ておくとよいでしょう。

① テキストを読む(1回目)

わからないところがあるあっても、気にせずどんどん読み進めましょう。テキストは小説と違って一度読んだら終わりというものではありません。まず、簿記の概要をつかむことが大切です。

② テキストを読む(2回目)・基本問題を解く(1回目)

テキストを読みながら、該当する基本問題を解きます。実際に、電卓、紙、鉛筆、消しゴムを用意し、実際に手を動かして問題を解くことがとても大切です。

③ 基本問題を解く(2回目)

基本問題を解き、間違えた箇所に該当する部分のテキストを読みます。

④ 実力アップ問題を解く(1回目)

最初は解説を見ながら解いてもOKです。

⑤ 「過去問攻略ナビ」(別売り)を活用する

実際の試験問題を効率よく解くテクニックを身に付けましょう。

⑥ 模擬試験(本試験レベル)を解く

時間を計って、模擬試験を解きましょう。間違えた箇所はきちんと復習して解けるようにしてください。

目次

C o n t e n t s



第0章 はじめての簿記

Section 1 簿記って、なに？

1 簿記とは.....	002
2 簿記の必要性.....	003
3 会計期間とは.....	004

Section 2 貸借対照表って、なに？

4 貸借対照表とは.....	005
5 資産とは.....	006

第1章 簿記の基礎(期中編)

Section 1 帳簿への記入の仕方は？

12 簿記上の取引.....	014
13 勘定科目とは.....	016
14 代表的な勘定科目.....	017
15 お店の帳簿.....	018
16 仕訳の作り方.....	020
17 総勘定元帳への記入方法.....	022

Section 2 帳簿記入の練習をしよう！

18 簿記を体験しよう①.....	024
19 簿記を体験しよう②.....	026

6 負債、純資産とは.....	007
7 貸借対照表の特徴.....	008

Section 3 損益計算書って、なに？

8 損益計算書とは.....	009
9 費用とは.....	010
10 収益とは.....	011
11 損益計算書の特徴.....	012

20 簿記を体験しよう③.....	028
21 簿記を体験しよう④.....	030
22 簿記を体験しよう⑤.....	032
23 総勘定元帳への転記(補足).....	034

Section 3 試算表

24 試算表.....	035
25 合計試算表の作成方法.....	036
26 残高試算表の作成方法.....	038
27 合計残高試算表の作成.....	040
28 貸借差額とは.....	042

第2章 簿記の基礎(決算編)

Section 1 決算

29 決算	044
-------	-----

Section 2 決算整理手続

30 決算整理手続とは	046
31 消耗品の整理	048

Section 3 決算振替手続

32 決算振替手続とは	050
33 振替え	052
34 収益の勘定の締切り	054
35 費用の勘定の締切り	056
36 損益勘定の締切り	058
37 資産・負債・純資産の勘定の締切り	060

38 繰越試算表の作成	062
-------------	-----

Section 4 財務諸表の作成

39 捐益計算書の作成	064
40 貸借対照表の作成	066

Section 5 精算表

41 精算表とは	068
42 精算表の作成①	070
43 精算表の作成②	072
44 精算表の作成③	074
45 精算表の作成④	076

Section 6 簿記の流れ

46 1年間の簿記の流れ	078
--------------	-----

第3章 商品売買

Section 1 商品仕入

47 買掛金とは	080
48 掛仕入	081
49 仕入諸掛	082
50 仕入れた商品の値引き・返品	084

Section 3 前払金

55 手付金・内金を支払ったとき	089
56 手付金・内金を受け取ったとき	090

Section 4 前受金

57 手付金・内金を受け取ったとき	091
58 手付金・内金を受け取った商品を販売したとき	092

Section 5 商品券

59 商品券を発行したとき	093
---------------	-----

60 商品券を受け取ったとき 094

Section 6 他店商品券

61 他店商品券を受け取ったとき 096

Section 7 売上原価

62 売上原価とは 098

63 3分法とは 099

第4章 小切手・手形

Section 1 現金

68 現金 108

Section 2 当座預金

69 当座預金とは 109

70 当座預金口座の開設 110

71 小切手の振出し 111

72 小切手の受取り 112

73 当座借越(一勘定制) 114

74 当座借越(二勘定制) 116

Section 3 約束手形

75 約束手形とは 118

76 約束手形(振出人) 120

64 仕入勘定での売上原価の計算① 100

(決算整理) 100

65 仕入勘定での売上原価の計算② 102

(決算整理) 102

66 売上原価勘定での売上原価の計算 104

(決算整理) 104

67 売上原価の計算 106

77 約束手形(受取人・名宛人) 121

Section 4 為替手形

78 為替手形とは 122

79 為替手形(振出人) 124

80 為替手形(引受人・名宛人) 125

81 為替手形(受取人・指図人) 126

Section 5 手形の裏書譲渡

82 手形の裏書譲渡とは 127

83 手形の裏書譲渡をしたとき 128

Section 6 手形の割引き

84 手形の割引きとは 129

85 手形を割り引いたとき 130

第5章 有価証券・有形固定資産

Section 1 有価証券

86 株式の購入 132

87 株式の売却 134

88 債券の購入 136

89 債券の売却 138

90 売買目的有価証券の評価替え

(決算整理) 140

- 91 売買目的有価証券の時価があ
上がったとき(決算整理) 142
- 92 売買目的有価証券の時価がさ
下がったとき(決算整理) 143
- 93 配当金領収証と期限が到来した利札 144

Section 2 固定資産

- 94 固定資産の購入 146

- 95 固定資産の減価償却(決算整理) 148
- 96 直接法・間接法 150
- 97 固定資産の期首売却 152
- 98 固定資産の期中売却 154

Section 3 未収金・未払金

- 99 未収金・未払金 156
- 100 過去に出た意地悪問題 158

第 6 章 収益・費用

Section 1 費用・収益の繰延べ

- 101 費用の支払い 160
- 102 収益の受取り 161
- 103 費用の繰延べとは(決算整理) 162
- 104 収益の繰延べとは(決算整理) 163
- 105 費用の繰延べ 164
- 106 収益の繰延べ 165
- 107 費用の繰延べの期首再振替 166
- 108 収益の繰延べの期首再振替 167

Section 2 費用・収益の見越し

- 109 金銭を借りたとき 168
- 110 金銭を貸したとき 169
- 111 利息を支払ったとき 170
- 112 利息を受け取ったとき 171
- 113 支払利息の計算 172
- 114 受取利息の計算 173
- 115 金銭を借りて約束手形を振り出したとき 174

- 116 金銭を貸して約束手形を受け取ったとき 175
- 117 費用の見越し(決算整理) 176
- 118 収益の見越し(決算整理) 177
- 119 費用の見越し 178
- 120 収益の見越し 179
- 121 費用の見越しの期首再振替 180
- 122 収益の見越しの期首再振替 181

Section 3 消耗品

- 123 購入した消耗品を費用としたとき 182
- 124 購入した消耗品を資産としたとき 183
- 125 購入した消耗品を費用としたとき(決算整理) 184
- 126 購入した消耗品を資産としたとき(決算整理) 185
- 127 購入した消耗品を費用としたときの期首再振替 186

128 3級で学習する
収益の勘定科目 187

129 3級で学習する
費用の勘定科目 188

第7章 その他の取引

Section 1 仮払金

130 仮払金を支払ったとき 190
 かりばらいきん しはら
 131 仮払金の勘定科目・金額が
確定したとき 191
 かくてい
 かりばらいきん かんじょう か もく きんがく

Section 2 仮受金

132 内容不明の金銭を
受け取ったとき 192
 ないとうふめい きんせん
 うと
 かりうきん ないよう はんめい
 133 仮受金の内容が判明したとき .. 193

Section 3 立替金

134 金銭を立て替えたとき 194
 きんせん たて か
 135 運送料を立て替えたとき 195
 うんどうりょう たて か

Section 4 預り金

136 金銭を一時的に
預っているとき 196
 いちじてき あづか
 137 一時的に預っている金銭を
支払ったとき 197
 しはら きんせん

Section 5 現金過不足

138 現金過不足とは 198
 げんきん か ぶそく
 139 実際の現金が足りない 199
 じっさい げんきん た
 140 実際の現金が多いよ 200
 じっさい げんきん おお
 141 現金過不足の原因がわかった... 201
 げんきん か ぶそく げんいん
 142 現金過不足の原因が
わからない 202
 げんきん か ぶそく げんいん

Section 6 貸倒れの処理

143 貸倒引当金とは 204
 かしだれひきあてきん
 144 貸倒引当金の設定
(差額補充法) 206
 さがくほ じゅうほう
 145 売掛金の貸倒れ① 207
 うりかけきん かしだれ
 146 売掛金の貸倒れ② 208
 147 償却債権取立益 210
 じょうきやくさいけんとりたてえき

Section 7 資本金

148 資本の引出し 211
 しはん ひきだし
 149 資本の引出し(応用) 212
 150 引出金 214
 ひきだしきん
 151 引出金(決算整理) 215
 ひきだしきん

Section 8 訂正仕訳

152 訂正仕訳とは 216
 ていせいしわけ

Section 9 小口現金

153 小口現金 218
 こぐらげんきん
 154 小口現金係からの支払報告 ... 219
 こぐらげんきん しはらいほうこく
 155 小口現金の補給 220
 こぐらげんきん ほきゅう

Section 10 分記法

156 分記法とは 221
 ぶんきほう
 157 商品仕入(分記法) 222
 じょうひんしおい ぶんきほう
 158 商品売上(分記法) 223
 じょうひんうりあげ ぶんきほう
 159 分記法による値引き・返品 224
 ぶんきほう ねび へんびん

Section 11 財務諸表の表示

- 160 減価償却累計額・貸倒引当金の表示 225

161 財務諸表の表示科目 226

第8章 補助簿・伝票

Section 1 帳簿

- 162 仕訳帳 228
 163 総勘定元帳 230
 164 現金出納帳 232
 165 当座現金出納帳 233
 166 小口現金出納帳
 (週末(月末)補給) 234
 167 小口現金出納帳
 (翌週(月初)補給) 235
 168 仕入帳 236
 169 売上帳 237
 170 商品有高帳(先入先出法) 238
 171 商品有高帳(移動平均法) 240
 172 受取手形記入帳 242
 173 支払手形記入帳 243
 174 売掛金元帳(得意先元帳) 244

175 買掛金元帳(仕入先元帳) 246

Section 2 伝票

- 176 伝票とは 248
 177 入金伝票 249
 178 出金伝票 250
 179 振替伝票 251
 180 一部現金取引 252
 181 5伝票制とは 254
 182 仕入伝票 255
 183 売上伝票 256
 184 5伝票制の応用 257
 185 仕訳集計表とは 258
 186 仕訳日計表の作成① 260
 187 仕訳日計表の作成② 262
 188 仕訳日計表の作成③ 264

振分けルール、勘定科目表 266

索引

- 別冊1 問題集
 別冊2 模擬試験

第〇章

はじめての簿記



はじめて日商簿記3級の学習を始めるにあたって、「そもそも簿記ってなんですか?」という質問をよく受けます。

第0章ではイントロダクションとして、簿記ってどういうものなのかについて触れてていきます。

Section 1 簿記って、なに?

Section 2 貸借対照表って、なに?

Section 3 損益計算書って、なに?

1

お店も家計簿が必要なんです！

簿記とは



お店を経営するには、「簿記」が必要って聞いたんだけど、そもそも簿記ってなんだろう？



答え

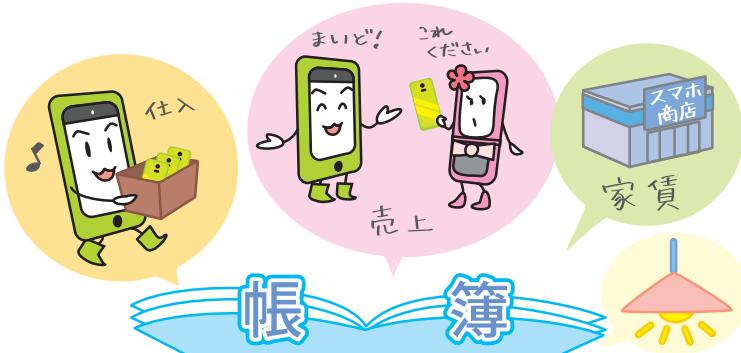
簿記とは帳簿記入の略で、お店(飲食店・八百屋・花屋など)の取引(モノを買ったり、売ったりすることなど)を一定のルールにしたがって**帳簿**と呼ばれるノートに記入することです。



解説

お店で取り扱うモノを買ったり、売ったりすること以外に、お店の家賃や電話代を払ったりしたことでも帳簿に記入します。

帳簿はまるで家庭の家計簿みたいなものです。



ただし、帳簿は家庭の家計簿と違って、誰が記入しても同じになるように一定のルールがあります。みなさんは、この一定のルールをこれから学習していくことになります。

2

お金の残高やいくら儲けたかって、気になりますよね！

簿記の必要性



どうしてお店の取引を帳簿と呼ばれるノートに記入する必要があるの？



答え

帳簿の内容をまとめた報告書を作成し、税金を納めたり、銀行からお金を借りるときなどに利用します。



解説

帳簿の内容をまとめて、お店にあるお金の残高やお店が保有している土地などの財産がいくらあるかをまとめた**貸借対照表**やお店が1年間(会計期間)でどれだけ儲けたかをまとめた**損益計算書**という報告書を作成します。これらの報告書を**財務諸表**といい、この財務諸表を作るために簿記が必要となります。

3

期間を区切らないと…！

かい けい き かん

会計期間とは



さっき「会計期間」という言葉が出てきたんだけど、会計期間ってなんだろう？



答え

会計期間とは、財務諸表を作成するために区切った一定期間のことです。



解説

会計期間の初めの日を期首きしゅといい、会計期間の最後の日を期末きまつまたは決算日けっさんびといいます。期首と期末の間を期中きちゆうといいます。また、現在の会計期間のことを当期とうき、当期の1つ前の会計期間を前期ぜんき、当期の1つ後の会計期間を次期じきまたは翌期よくきといいます。

Point

会計期間



会計期間は通常1年です。また、日商簿記3級で出題されるお店（個人商店）の簿記では、決算日は12月31日です。

会計期間を1年ごとに区切ることで、1年ごとの儲けを計算でき、損益計算書を作成することができます。また、貸借対照表は決算日のお金などの財産がいくらあるかをまとめて作成します。

4

お店の財産大公開！

貸借対照表とは



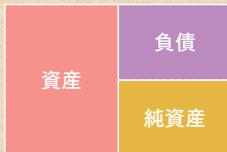
貸借対照表はどのような報告書なの？



答え

貸借対照表は、決算日において、お店にお金や土地などのモノがいくらあるかをまとめた報告書のことです。貸借対照表は、資産、負債、純資産の3つのグループで構成され、資産が左側、負債、純資産が右側に記載されます。

貸借対照表



解説

お金や土地以外にも、借金のように、マイナスのイメージのものもお店の財産として存在し、簿記では貸借対照表にまとめます。



5

資産は増えたらうれしいよね！

資産とは



資産ってなんだろう？



答え

資産は、お金や建物、土地などの一般的には財産といわれるものをいいます。また、お金を貸したときには、「後日、お金を返してもらう権利」が発生し、このような権利も簿記では資産になります。



解説

「権利」は「～ことができる」と読み替えるとわかりやすいです。たとえば、「後日、お金を返してもらうことができる」というような感じです。

資産



現金



土地や建物



お金を取り戻す権利

貸借対照表の左側は資産！



6

負債は増えたら悲しい、純資産が多いといいね！

ふ　さい　じゅん　し　さん
負債、純資産とは

負債、純資産ってなんだろう？



答え

負債は、「後日、お金を返す義務」である借金のように、何かしらの義務のことをいいます。また、**純資産**は、お店の運営のための出資額のことです。



解説

「義務」は「～しなければならない」と読み替えるとわかりやすいです。たとえば、「後日、お金を返さなければならない」というような感じです。「出資額」は、店主が用意した資金の額のことです。

負 債

ずっしり…。

お金返す
義務

純 資 産

出資金



貸借対照表の右側は負債・純資産！

7

左と右のバランスが取れている！

たい しやく たい しょう ひょう とく ちょう
貸借対照表の特徴



貸借対照表にはどのような特徴があるの？



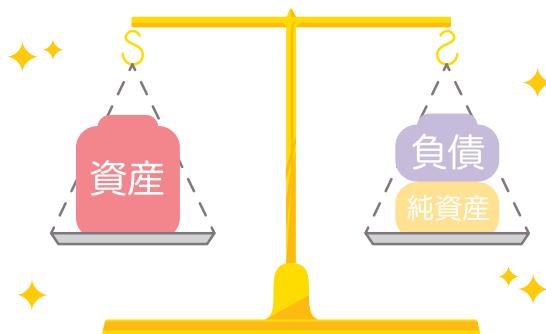
答え

 $\text{資産} = \text{負債} + \text{純資産}$ $\text{資産} - \text{負債} = \text{純資産}$ 

解説

左側の資産の金額と、右側の負債の金額と純資産の金額の合計が必ず一致します。左側と右側でバランスが取れていることを表しています。

貸借対照表が英語でバランス・シートと呼ばれるのも納得！



また、資産の金額から負債の金額を引くと純資産の金額になります。
 純資産はお店の正味の財産という意味があります。

8

会社の通信簿だよ！

損益計算書とは



損益計算書はどのような報告書なの？

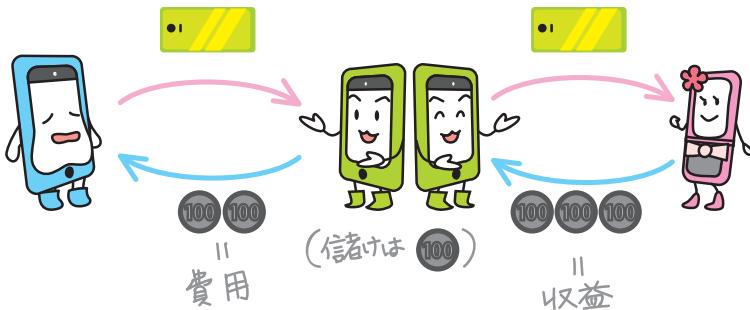


答え

損益計算書は1年間でお店がいくら儲けたかを明らかにする報告書です。この1年間は会計期間のことです。損益計算書は、**収益**、**費用**の2つのグループで構成され、費用が左側、収益が右側に記載されます。



解説



9

稼ぎを得るために必要です！

ひ よう
費用とは

費用ってなんだろう？



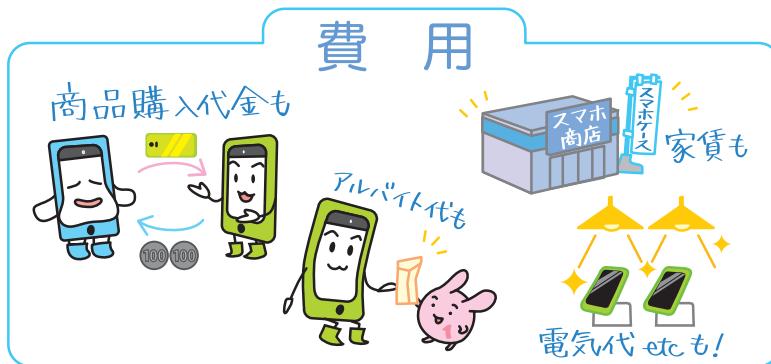
答え

費用はお店の稼ぎを得るためにかかるものです。



解説

お客様に売るためのモノを購入した金額が費用です。また、モノを売るために雇ったアルバイトさんの給料も費用です。この他にも、店舗の家賃、広告料、電話料金など、費用はいろいろあります。



お店で売るためのモノを商品といい、その商品を購入することを仕入れるといいます。

損益計算書の左側は費用！



10

たくさん売れたらしいよね！

収益とは



収益ってなんだろう？



答え

収益はお店の稼ぎです。



解説

たとえば、商品を販売したときの販売金額が収益です。この他にも預金の利息や賃貸した事務所の家賃などいろいろあります。

収 益

商品の販売代金も



1000

賃貸した事務所の
家賃も！銀行預金の
利息も！

商品を販売することを売上げるといいます。



損益計算書の右側は収益！

11

儲けたの、損をしたの、さてどっち？

そん　えき　けい　さん　しょ　とく　ちょう

損益計算書の特徴



損益計算書にはどのような特徴があるの？



答え

損益計算書では、収益と費用の関係から儲けが生じることもあれば、損が生じることもあります。

収益 - 費用 = 儲けまたは損

収益のほうが費用より多ければ、儲けが生じています。この儲けのことを**当期純利益**といいます。また、収益のほうが費用より少なければ、損が生じます。この損のことを**当期純損失**といいます。



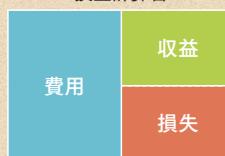
解説

損益計算書



費用 < 収益 → 当期純利益

損益計算書



費用 > 収益 → 当期純損失